

「機械産業のまち」の発展を目指し、 新たな宣伝ツールの作成

上野原機械器具工業 協同組合

上野原機械器具工業協同組合（鈴木誠一理事長 組合員 36 社）は、上野原市からの補助を受け新規組合員募集のためのパンフレットと組合員企業の紹介冊子を作成することになった。

上野原地域は古くから製造業が集積されており、組合も昭和 29 年に設立されて以来、上野原地域の製造業の中心的な組織として活動を行ってきた。しかし、バブルの崩壊後の生産拠点の海外移転や首都圏からの進出企業の撤退、更にコロナ禍など

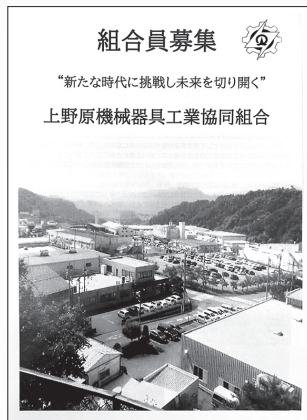
により、組合と組合員企業を取り巻く経営環境が大きく変わりつつあった。組合では、上野原を「機械産業のまち」と位置付け、組合と地域の製造業の活性化を目指して今回の事業に取り組むこととなった。

事業の取り組みにあたって組合が調査したところ、市内の造業者は約 1,400 社、組合への加入率は 3% に満たないこと

が分かった。そこで、組合として市内の製造業の活性化を目指すため、組合事業活動の紹介と組合員募集のパンフレット 1,500 部作成、組合役員が市内の組合未加入企業を訪問配布し、組合への加入を働きかけることとした。

また、組合員企業の新たな宣伝ツールとして、冊子の掲載内容を組合役員が中心となり検討、企業取材にはデザイナーやプロのカメラマンに組合役員も同行した。冊子 1,000 部は 3 月上旬に完成予定で、取引先への配布の他、市役所、商工会、県産業支援センターなどにも設置と配布を依頼する。

鈴木誠一理事長は、「今回の取り組みが新たな仲間との連携に繋がることを期待したい。首都圏に近い利便性の高い立地を活かし、これからも「機械産業のまち」としての発展を組合がリードしていきたい」と話した。



組合員募集パンフレット



組合員企業紹介冊子

組合員企業紹介冊子